

2020年度 第3回教育委員会議事録

日 時 2020年9月9日(水) 10:30～16:40

会 場 日本代協 会議室(Web開催)

出席者 石川委員長

(敬称略)

ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名
北海道	伊藤	北東北	藤本	南東北	赤城	上信越	古瀬
東関東	井上	南関東	丹野	東京	雨宮	東海	八木
北陸	中村	近畿	谷口	阪神	山本	東中国	藤原
西中国	近藤	四国	渡部	九州北	甲山	九州南	徳丸

小田島副会長、事務局:小見常務、小峯部長

[配付資料]

- (資料1-1)2020年度第3回理事会議事録
- (資料1-2)新型コロナウイルスに関する損保大学課程の対応について
- (資料1-3)TP周知チラシ
- (資料2-1)合同運営会議(0826)議事メモ
- (資料2-2)2019年度通信教育実施状況
- (資料2-3)2020年度通信教育実施状況
- (資料2-4)新型コロナウイルスにかかる損保大学課程コンサルティングコースセミナーの開催
- (資料2-5)2021年4月開講分の受講勸奨方針(案)について
- (資料2-6)認定バッジの販売個数推移(8月20日現在)
- (資料2-7)損害保険大学課程各コースの認定状況等について
- (資料2-8)募集要綱<たたき台>
- (資料2-9)コンサルティングコーステキスト作成スケジュール
- (資料3-1)アカデミー集計レポート
- (資料3-2)アカデミーコンテンツ別アクセス数
- (資料3-3)【日本代協アカデミー】10月更新に向けた対応
- (資料3-4)更新用案内文
- (資料3-5)ご利用ガイド(更新用)
- (資料3-6)ご利用ガイド(新規用)
- (資料3-7)人事・労務ハンドブックチラシ
- (資料3-8)日本代協アカデミー・コンテンツリスト
- (資料3-9)第5回アンケート結果
- (資料3-10)特別会員向けサービス概要
- (資料3-11)アカデミー利用者アンケート結果(経営者用)
- (資料3-12)アカデミー利用者アンケート結果(従業員用)
- (資料4)大学講師候補者選定/研修会の案内

1. 決定事項

今年度第1回セミナーを11月～2月に、第2回セミナーを3月～6月にリアル開催すると仮定した場合、会場等のセッティングなどが可能かどうか、移動制限等も含め、9月14日までに確認する。
2021年度「コンサルティングコース」の募集目標値および募集勸奨ツールの必要部数を今月末までに確認する。

(進行) 石川委員長 (書記) 小峯部長

1. 議事録作成者の指名、出席者の確認

石川委員長、教育委員16名、小田島副会長、事務局：小見常務、小峯部長

2. 石川委員長挨拶

今回はリアル(東京)で開催したかったが、コロナの影響でWeb開催となった。来週の理事会・全国会長懇談会もWeb開催ということで、残念だがやむを得ないと考えている。Webとはいえ、楽しくしっかりと審議をしていきたい。また、前回の6月から今日まで、コロナ以外にも7月の豪雨や今般の台風10号などにより、被災地においては皆さま自身が被害者でもありながらお客様対応に奔走されており、感謝するとともに敬意を表したい。我々の仕事において、今やらなければならないことは何か、何のために地域に密着しているのかなど、身をもって自分も感じているので、ぜひ皆さま方といろいろなことを情報共有しながら、審議を進めていきたいので、よろしくお願ひしたい。

3. 小田島副会長挨拶

先日の台風など皆さまに被害が出ていないかと心配していた。先ほどの委員長の話にもあったが、他の地域で起こることは自分の身に降りかかることと心して仲間から学び、より良い対応力を身に付けていかなければいけないと思っている。本日は報告事項・審議事項がたくさんあるが、本日の委員会に合わせてそれぞれのPTでリーダーを中心に準備をしていただいていることが資料を読むとよく分かる。話し合いにより、よりよい結論になったり、内容を深められたりし、その結果、会員のための教育の仕組みがより充実し、新しい考え方がその中に取り入れられたものになるよう期待している。思うように活動ができない、伝わらない、知りたい・学びたいときに直接アクセスができないもどかしさとか皆さまがストレスを抱えていると思う。本日はZoomの中ではあるが、皆さまとコミュニケーションをとりながら、力や思いをチャージしていきたいと思うので、一日よろしくお願ひしたい。

4. 理事会(7月10日)審議事項等(報告)

石川委員長から、7月10日開催の第3回理事会の概要については、資料のとおりであるので後ほど詳しく確認しておいてほしい旨の報告があった。

5. 損害保険大学課程の運営(報告・審議)

(1)2/27 2019 年度最終回「第2回コンサルティングセミナー(東京A)」の代替セミナー(9/2)について

雨宮副委員長から、次のとおり報告があった。

・2月27日の代替セミナーを9月2日に開催した。東京会場であったが特別対応であり、日本代協として開催するというので、石川委員長、丹野副委員長と自分のほか、日本代協事務局から2名、東京代協から2名という体制で実施した。

・会場は、損保会館2階大会議室に33名出席予定で設営。通常のT字型からコの字に変え、検温記録・マスク着用はもとよりフェイスガードも配付し、ディスカッション可能な態勢とした。空気清浄機も設置し、講師マイクは変わるとに交換・消毒を実施した。損保協会からのオブザーバーにも同様の対応を行った。

・今後、損害保険大学課程カリキュラムPTでスタンダードの実施方法を検討していく。

・最終的に17名の出席となったが、受講生のアンケート結果等は比較的高評価であった。

(2)8/26 合同運営会議

雨宮副委員長から、次のとおり報告があった。

・議事に先立ち、新しい出席者が紹介された。今回から当方出席者に正副委員長のほかにPTリーダーが加わった。

・修了状況について、2019年4月開講コースは2,295名中1,800名が修了。2020年4月開講コースは鋭意受講中である。

・2020年度教育プログラム第1回・第2回セミナーの開催については、まず日本代協側から資料のとおり検討状況の説明を行ったが、「ブロック単位ではなく、都道府県単位で開催」については、システムや体制が整わないため難しい旨補足した。その後、意見交換の後、資料のとおり今後の対応方針を整理した。ポイントは、原則リアル開催とするが、難しい場合にはWeb開催とすること、損保大学課程の制度存続、代理店手数料ポイント制度への影響を考慮し、トータルプランナーを毎年誕生させるようにすることである。なお、2020年度についてはWeb開催について募集要項に触れられていないことからWeb開催は難しいと思われる。なお、意見交換の中で、「内容が古くなっている科目3第2編の大幅改定について状況はどうか」との質問があったが、コロナの影響もあり先延ばしとなっている旨回答している。

・今年度トータルプランナー認定授与式については非開催とし、代替策を検討していく旨損保協会から報告があった。

・トータルプランナー認定バッジの販売状況について、発売当初は販売個数が伸びていたが、最近では伸び悩んでいる旨損保協会から報告があった。なお、教育委員で未購入の方は、購入の上、着用願いたい。

・議事外として小見常務から、内容が古くなっているため損保協会から依頼のあった科目3のDVDの作成・廃止等について、費用やネット環境等も踏まえ検討中である旨報告があった。

(3)2020年度「コンサルティングコースセミナー」スケジュール、開催方法について

雨宮副委員長から、次のとおり報告があった。

・掲題については、損保協会からも明確な回答を得られておらず、未だ資料記載のような検討をしており、損保協会からの回答を待っている旨、ブロックの皆様にお伝えいただきたい。

・損保協会側からは、「2020年度第1回・第2回セミナーを延期し、遅くとも12月までに開催する方向で検討する」旨要請が来ているが、日本代協側からは、「リアル開催の目途がつくまで、または代替となるwebセミナー構築の目途がつくまで開催延期が望ましい」旨を損保協会側に伝えている。

・次年度募集の検討については、履修方法の確定による募集要項の校了を前提としているが、従来どおりでは9月末までに校了する必要があり、現時点の状況では後ろにずれる可能性がある。次年度募集要項のたたき台を添付しているが、webセミナーに係る記載案を付記している。受講料については、69,980円では変更はない。

・コンサルティングセミナーWeb化の課題は、IT環境が良いことが前提、ブロックという概念がなくなる、講師以外にオペレーターが必要、遅刻等の扱いをどうするか、Zoom利用を制限している保険会社・代理店がある、など資料記載のとおりである。損保協会や保険会社からはセミナーをweb化したいという希望が以前より寄せられていたが、日本代協としてはリアル開催しディスカッションすることが重要ということから、リアル開催を堅持するスタンスは変わらないのでご承知おき願いたい。

・今後の2020年度セミナー実施については、来週にも損保協会から何らかの回答があると思われるので、改めて皆様と協議していきたい。2021年度4月開講分についても、実施しないということはないのでご承知おき願いたい。

引き続き、意見交換を行った後、雨宮副委員長から「損保協会からの回答を待つ一方で、損保協会側も詳細については待ちの姿勢であり、日本代協として詳細を詰めて損保協会に回答する必要がある。10月では教育事務センターのシステム面での対応が間に合わないなどの状況も踏まえ、例えば、今年度第1回セミナーを11月～2月に、第2回セミナーを3月～6月にリアル開催すると仮定した場合、会場等のセッティングなどが可能かどうか、移動制限等も含め情報交換し、方針を固めていきたい。」との提案があり、席上分かる範囲で状況確認が行われた。最終的に9月14日までに下記の事項等を確認の上、事務局あて回

答願うこととなった。

< 確認事項 >

- ・コロナ対策をした(密を避けた)うえでのセミナー開催(会場運営等)が可能か。
- ・その他、コスト、日程、地域特有の天候などは大丈夫か。
- ・移動制限等を踏まえ、ブロック単位での開催は大丈夫か。 など

最後に、小見常務から、会場予約のルール等について次のとおり説明があった。

・講師陣からの要望としては、連休明けや月曜日は移動の関係で厳しいと言われている。もちろんそこしかないということであればやむを得ず対応いただいているが、極力避けるようにしている。今後の会場予約に際して承知しておいてほしい。

・総括ではないが、午前中からの議論の整理をしたい。一つは、リアルセミナーにこだわってやってきているが内容はその方が良いということは損保協会も保険会社も理解している。しかし、こういう状況なのでwebセミナー等の検討、それが無理であればその他の代替策、例えば講師に1時間動画で講義をしてもらいそれに関する確認テストを行うなど、いろいろな案を検討している。とはいえ、日本代協の案としては、業務品質のレベル等を考えると、リアルで開催することが重要であると考えている。それゆえ、損保協会に対して1年延期ということも強く申し入れた。

・ただ、損保協会側としては、毎年トータルプランナーを輩出する方法を何とか考えてほしいということであった。最終判断は、認定主体の損保協会であるが、我々としては具体策を考えて提案していき、少しでも早く決断してもらわないと次年度募集が出来ない。そのために上記の確認をお願いしている。2020年度のセミナー運営と2021年度の募集は切り離して考えられないことを認識しておいてほしい。

(4)2021年度「コンサルティングコース」の募集について

丹野副委員長から、次のとおり報告があった。

・先程来トータルプランナーの継続的輩出という話があったが、そもそも日本代協では資質の向上・消費者利益の保護といったことは予めより言い続けてきている。その観点からも、教育委員会としては、こういった状況ではあるが募集を行い継続して教育事業を行っていくとして、昨日の正副委員長・PTリーダー打合せで確認した。

・募集の目標値については、当初より最低募集員数として全国で840という数字を掲げて取り組んできたが、今年度も同じく840名としたい。直近2年間では、840名に留まらず、各都道府県代協が目標を100%超えて達成しているため、今年度は昨年度と同様に全国で840名とし、ブロック・都道府県代協の目標値も変更しないこととしたい。皆様には、ブロック目標内で各都道府県代協の目標値を変更するか否か、ブロック長や各会長に確認をお願いしたい。次回の教育委員会は1月頃になるため、次の委員会までに募集が始まる可能性がある。そのため、目標値の変更については今月中に確認し、事務局に連絡願いたい。

・募集開始に当たっては募集勧奨ツール(ポスター・募集要項・チラシ)がある。毎年事務局から都道府県代協に送付している。これに関しても枚数の変更の有無を確認し、事務局に連絡願いたい。

・昨年の募集人数目標値、募集ツールの配付数の資料は後ほど事務局から送付する。

・募集ツールについては、保険会社内ではデータでの共有はあるかもしれないが紙ベースでは行われぬ。これについては教育委員を中心に保険会社の営業店に届ける、または送付するなどしていただくことになるのでよろしく願いたい。

・次年度は従来と時期がずれたりするかもしれないので、適宜、確認等願いたい。

ここで、石川委員長から、この後、PTの議題が続くため、改めて各PTのミッションについて次のとおり説明があった。

損保大学課程カリキュラムPTは、損保大学課程に係る各種プログラム・テキスト作成、セミナー運営等に係る検証等を行う。

アカデミー推進PTは、アカデミーを全体的に見て、利用者の増加を図りながら各種施策の検討を行う。
アカデミー教育コンテンツPTは、利用者にとって有益な教育コンテンツの作成を行う。
アカデミー情報提供コンテンツPTは、利用者の情報収集・分析・活用等に係る検討を行う。

引き続き、各PTによる分散会(ブレイクアウトセッション)を初めて実施し、各PTリーダーから分散会の感想が次のとおり述べられた。

(5) 損保大学課程カリキュラムPTの状況

<分散会感想(雨宮リーダー)>

・実りある話が出来た。初めての試みであったが、ディスカッションにも使えると感じた。休憩を入れれば長時間でも大丈夫と思った。セミナー、テキスト作成、講師打合せなど広く活用できると感じた。
・「共有」ボタンで作図・作画のようなことが出来たり、チャットにより話さずとも意見出しが出来ることなどが良かった。共同作業をすることで一体感が醸成できると感じた。また、大阪代協のセミナーで使っていたセミナー中に実施するアンケートも効果的であると感じた。こういう技術を使えば、セミナー中にほかのことをすることが出来なくなるのではないかと感じた。ぜひ、大阪代協に教えてもらいたい。
・セミナーのweb化について前向きにとらえることが出来た。一方で、ある企業はZoom不可ということであったので越えなければいけない壁もあると感じた。

6. アカデミーの状況と推進(報告)

(1) アカデミー推進PT

<分散会感想(中村リーダー)>

・アイデアとして、ウェビナーをブロックで開催し、情報提供出来たらよいのではという話が出たが、各メンバーともすでに活用を始めている。
・途中で参加いただいた小田島副会長からは、コツコツやっていくことが大事であるが、更新の時期なので一度もアカデミーにアクセスしていない方々に使っていただくアプローチが大事であるとのアドバイスをいただいた。ホームページを使ったアプローチなども考えられる。保険会社にも使っていただくよう保険会社も巻き込んでいくこと、募集人数の多い代理店にアプローチしていくことなども重要であると感じた。今すぐには難しいと思うが、個人的にはウェビナー運営などデジタルに関する相談窓口などがあればよいと感じた。

また、中村リーダーから、日本代協アカデミーの利用状況、10月更新に向けた対応、アカデミーコンテンツ等について説明があった。

(2) アカデミー教育コンテンツPT

<分散会感想(古瀬リーダー)>

・打ち合わせは盛り上がり、今後も使えるシステムと感じた。
・代理店の教育ということを考えた場合、保険会社の商品はEラーニングや研修でカバーできているので、代理店の信用・使命ということが必要ではないかということになった。代理店の信用については、社会人のマナーの教育をしっかり行っていかなければならないということになった。新人用に今よりも充実したものを作成し、若手・中堅とステップアップ出来るようなものを優先的に作ればと考えた。代理店の使命については、各保険会社で動画等を作っているが、保険会社目線なので、我々目線のものを作っていければと考えた。体制整備については、経営者層向けはあるが、新人・若手・中堅向けはないのでそういったものも考えていきたい。

(3) アカデミー情報提供コンテンツPT

<分散会感想(丹野リーダー)>

・ブレイクアウトセッションについては、PT打ち合わせのみならず、セミナー等にも活用できると感じた。ただし、今回はPTリーダーが司会を担ったので円滑にいったと思うので、司会の役割等がディスカッション実施に向けた課題だと感じた。

・前回のアンケートを用いて「感染症対策」の好取組事例を今月末までにピックアップして、その代理店の取材をしていくことを話し合った。データが139件と大部なので、ピックアップは宿題とした。1回目から4回目のアンケートについても取材等につなげられていないので、同様に活用していきたい。

・10月に配信予定の第6回アンケートのテーマ(人材採用と教育について)と内容について打ち合わせた。今後、起案の上、PTメンバーで詰めていく。

(4) 特別会員向けサービス概要

小見常務から、次のとおり報告があった。

・特別会員(保険会社)向けのコンテンツが決まり、今後、案内していく。

・損保ジャパンと共栄火災は既に案内済であるが、それ以外の会社についても日企社と連携してシステムを提供していく予定である。現時点で損保ジャパンと共栄火災に共通しているのは、保険会社本社からの通達(金融庁や財務局案件)の本質を理解しないで現場で取組みを行っている事例があるということであった。アカデミーの情報提供コンテンツを社員がしっかり見て、代理店の目線を今一度確認して、顧客本位の業務運営を自ら考えてもらうために利用するということである。

・当該2社では、利用にあたっての社内の段取りを進めており、10月以降利用が始まると思われる。

7. 「大学講座」と「講師プレゼンスキルアップ研修(2020年10月6日)」(報告)

小峯部長から、10月6日に掲題研修を実施する旨報告があった。なお、担当大学があるブロックについては講師選定をお願いしたい旨付言があった。

最後に、小田島副会長から、次のとおり総括があった。

・とても充実したいろいろな議論が行われた。こうなくてはいけないということを、この状況に合わせてどうやって行くか、方法を変えたらどうなるかなど、皆さんの意見交換の様子を見ると、教育委員会の力強さを改めて感じた。コンサルティングコース、日本代協アカデミーについて、それぞれの会員がより良く利用できるように、また一層活用して頂けるように、また一步以上前進したと思う。次の委員会まで、準備すること、議論していくことが増えていくように感じるが、頑張っていたきたい。

(次回開催)

第4回委員会 2月3日(水) 10:30 ~ 17:00

以 上